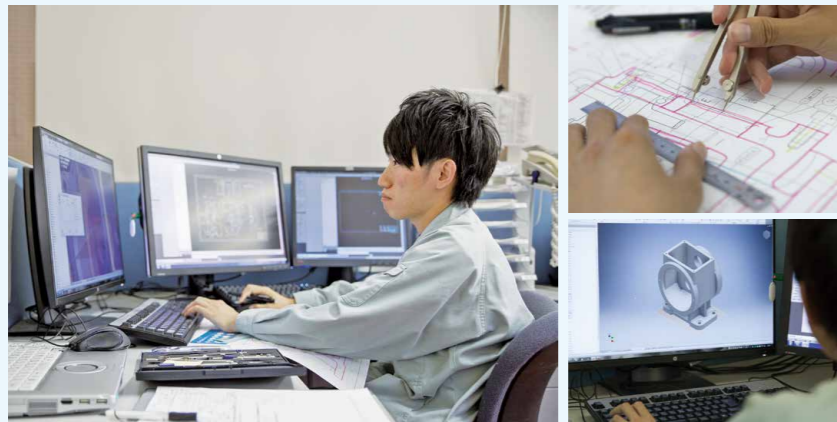


# 市内から出場する 若き挑戦者たち

## 機械製図

会場 宇都宮工業高等学校



業務の合間を縫いながら、日々練習に取り組む入社3年目の古橋さん。昔からものづくりに憧れがあり、高校卒業後に専門学校へ進学。20歳の時に愛知県で開催された技能五輪を見学し、その技術の高さに驚愕したという。「まさかその大会に自分も出ることになるとは」。会社の後押しを受けながら、技能五輪に向けて平日・休日問わずに毎日練習に励んでいる。

今年が最初で最後の大会なので、悔いの残らないように頑張ります。あまり自信はありませんが、大会当日までに出来るだけ練習を積んで、なんとか課題を完成させたいです。



株式会社 共伸  
営業企画課  
**古橋 知弥さん**  
Tomoya Furukashi



# 技の祭典 技能五輪

若い職人たちが繰り広げる



## 市内でも見られる熱い戦い

技能五輪全国大会をご存知だろうか。この大会は各都道府県から選ばれた23歳以下の職人達が技を競う大会。55回目を数える由緒ある大会が、今年24日から栃木県では初めて開催される。

大会の競技は42職種あり、時計修理や電気溶接、左官から美容に至るまで実に幅広い。ありとあらゆる職人が日頃から磨いてきた自らの腕を信じて競技に臨む。それぞれの職種で異なる制限時間内に、与えられた課題を完成させ、その精度を競い合う。課題は非常に難解なため、全国から集まる猛者達もまずは時間内にクリアすることが一つの目標となっているようだ。参加する選手は企業に所属している従業員や、高校・大学・各種専門学校の生徒たち。それぞれ所属する組織の威信をかけての戦いとなるため、出場選手はプレッシャーにも打ち勝たなければならぬ。

那須塩原市では、にしなすの運動公園で、建設・建築系の4職種「建築大工」・「タイル張り」・「造園」・「とび」の職人たちが競い合う。全国から若い技能者が集まる会場に一度足を運んでみてはいかがだろうか。

最初は何もかもうまくいきませんが、少しずつ出来るようになってきました。大会では時間の配分に注意しながら、これまでの練習の成果を十分に発揮出来るよう頑張りたいです。



那須清峰高校 3年  
**成宮 慎作さん**  
Shinsaku Narumiya  
**村上 飛雅さん**  
Hyuga Murakami



小さい頃から大工の父の姿に憧れ「将来は自分も大工になりたい」と話す村上さんと、宮大工を夢見る成宮くん。那須清峰高校の建設研究部に所属する2人は、高校生では取得が難しいと言われる技能検定2級の試験を見事突破した。平日の放課後だけでなく、土日も1日中練習に没頭。高校生とは思えない真剣な眼差しは早くも職人の表情だ。周りの多くの大人から支援を受け、二人で力を合わせて大会に臨む。

## 建築大工

会場  
にしなすの運動公園



**とちぎ技能五輪・アビリンピック2017**  
会場：にしなすの運動公園

11/25(土) 11/26(日)  
午前10時 - 午後4時

当日は職人たちの競技観覧だけでなく、さまざまなイベントも用意。開拓鍋<sup>\*1</sup>や巻狩鍋<sup>\*2</sup>、牛乳<sup>\*1</sup>などが無料で配布されたり、飲食店がブースを構えるなど地元のグルメを味わえます。(※1は25日のみ、※2は26日のみ実施)

大会のCMはこちらまる